≪調査票≫　　東京大学社会科学研究所附属社会調査･データアーカイブ研究センターSSJデータアーカイブ
■ 調査番号 0972
■ 調査名　宮城県沿岸部における被災地アンケート, 2011
※ 本調査票を引用する際には出典を明記して下さい。

2011 年 3 月 11 日 東日本大震災 「宮城県沿岸部における被災地アンケート」

問 1(1)　地震発生時（平成 23 年 3 月 11 日午後 2 時 46 分頃）は、あなたはどちらにいましたか。

（○は１つだけ）

N=451

1. 自宅（52.3%）
2. 会社・学校（23.1%）
3. 上記（自宅・会社・学校）以外の建物の中（11.1%）
4. 屋外で過ごしたり、歩いたり、自転車などに乗っていた（5.8%）
5. 車・バイクを運転中だった（5.1%）
6. 電車やバスなどに乗っていた（0.7%）
7. その他（　　）（2.0%）

【同居のご家族がいる方におたずねします】

問 1(2)　そのとき、同居のご家族はどこにいましたか。（あてはまるもの全てに○）

N=451

1. 自宅（62.7%）
2. 職場（39.5%）
3. 学校（14.6%）
4. 幼稚園・保育所（2.4%）
5. 買い物・通院などで外出中（8.9%）
6. その他の場所（8.6%）
（　　）
7. 同居家族はいない（単身者）（11.3%）

問 2(1)　<u>地震が起きた時（揺れている間）</u>、あなたはとっさに何をしましたか。

（あてはまるもの全てに○）

N=451

1. テレビやラジオで地震情報を知ろうとした（11.3%）
2. 火の始末をした（10.9%）
3. 家具や壊れ物を押さえたりした（14.2%）
4. 安全な場所にかくれたり、身を守ったりした（15.1%）
5. 丈夫なものにつかまって、身を支えた（22.8%）
6. その場で様子をみた（16.9%）
7. 家族や周りの人に声をかけた（12.4%）
8. 子どもや老人、病人などを保護した（5.8%）
9. 戸、窓を開けた（13.3%）
10. 家や建物の外にとび出した（20.0%）
11. 車・バイクを停止させた（5.5%）
12. その他（　　）（7.5%）
13. 何もしなかった（できなかった）（8.2%）
14. 無我夢中でおぼえていない（2.0%）

問 2(2)　揺れが収まってから、避難を開始する前に、以下のようなことを行いましたか。

（あてはまるもの全てに○）

N=451

1. 幼稚園や学校などに子どもを迎えに行った（6.7%）
2. 近くに住む親や親戚などの様子を見に行った（9.5%）
3. 出先から自宅に戻った（18.4%）
4. 海の様子を見に行った（1.8%）
5. 川の様子を見に行った（0.7%）
6. 船の沖出しをしに行った（0.4%）
7. 家族などの安否を確かめるために電話をした（19.1%）
8. 避難のための荷物や貴重品をまとめた（10.9%）
9. 避難の準備をした（18.0%）
10. その他（　　）（20.0%）
11. 何もせずに避難した（20.0%）

無回答（1.1%）

問３　あなたは、地震の直後、お住まいの地域に津波が来ると思いましたか。（○は１つだけ）

N=451

1. 津波が必ず来ると思った（32.6%）
2. 津波が来るかもしれないと思った（21.1%）
3. 津波は来ないだろうと思った（20.8%）
4. 津波のことはほとんど考えなかった（24.8%）

無回答（0.7%）

問４　津波は、地震の後どのくらいで来ると思いましたか。（○は１つだけ）

N=451

1. すぐ逃げないと間に合わないくらい早く来ると思った（25.3%）
2. 津波は早く来るが、荷物を持って逃げるくらいの余裕はあると思った（15.3%）
3. 津波は早く来るが、子どもを迎えに行ったり、近所に住んでいる親の様子を見に行くくらいの余裕はあると思った（5.3%）
4. 津波が来るまでには、かなりの余裕があると思った（16.9%）
5. 津波が来るとは思わなかった（35.0%）

無回答（2.2%）

問５　あなたは、その場所に留まると、どの程度津波の危険があると思いましたか。（○は１つだけ）

N=451

1. 非常に危険だと思った（36.6%）
2. 危険だと思った（14.0%）
3. 少し危険だと思った（18.6%）
4. 危険だとは思わなかった（29.3%）

無回答（1.6%）

問 6(1)　地震の直後に、大津波の警報が出されました。あなたは、この大津波の警報をお聞きになりましたか。（○は１つだけ）

N=451

1. 聞いた　→　問 6(2)～6(3)へ（56.1%）
2. 聞かなかった　→　問 7(1)へ（43.2%）

無回答（0.7%）

【聞いたと答えた方におたずねします】

問 6(2)　あなたは、その大津波の警報をどのようにして知りましたか。（あてはまるもの全てに○）

N=253

1. 民放テレビから（6.7%）
2. ＮＨＫテレビから（1.2%）
3. 民放ラジオから（19.8%）
4. ＮＨＫラジオから（7.5%）
5. 防災無線の戸別受信機から（6.3%）
6. 防災無線の屋外拡声器から（47.8%）
7. 市町村の広報車から（13.8%）
8. 家族や近所の人から（9.1%）
9. 警察や消防の人から（7.1%）
10. その他（　　）（5.1%）

【聞いたと答えた方におたずねします】

問 6(3)　あなたは、この大津波の警報を聞いた時、どのように思いましたか。（○は１つだけ）

N=253

1. すぐに避難しなければいけないと思った（54.9%）
2. すぐに避難した方がいいかもしれないと思った（20.6%）
3. 警戒する必要はあるが、海の様子をみてから判断した方がよいと思った（5.1%）
4. 避難するほどの危険はないと思った（10.7%）
5. その他（　　）（7.5%）

無回答（1.2%）

問 7(1)　地震のあと、市や町は「大津波が来るので避難するように」と呼びかけました。あなたは、この呼びかけを聞きましたか。（○は１つだけ）

N=451

1. 聞いた（50.6%）　　2. 聞いていない（44.8%）

無回答（4.7%）

問 7(2)　あなたが避難したきっかけは何でしたか。（あてはまるもの全てに○）

N=451

1. 以前津波を体験したので津波が来ると思った（5.3%）
2. 地震の揺れ具合から津波が来ると思った（21.1%）
3. 海や川の水が大きく引いたので（4.7%）
4. 家族が避難しようと言ったので（14.0%）
5. 近所の人が避難するように言ったので（19.7%）
6. 市町村が避難を呼びかけたので（12.4%）
7. 大津波の警報を聞いたので（24.2%）
8. 役場や消防団の人が来て説得されたので（5.5%）
9. 実際に津波が来るのが見えたので（13.5%）
10. その他（　　）（20.4%）
11. よく覚えていない（1.1%）

無回答（2.2%）

問８　あなたが避難をはじめたのは、地震の発生からどのくらい経ってからですか。（○は１つだけ）

N=451

1. 揺れている間（4.0%）
2. 揺れが収まった直後（17.7%）
3. 揺れの 5 分くらい後（10.2%）
4. 揺れの 10 分くらい後（12.4%）
5. 揺れの 15 分くらい後（9.1%）
6. 揺れの 20 分くらい後（9.1%）
7. 揺れの 25 分くらい後（5.3%）
8. 揺れの 30 分以上後（19.3%）
9. よく覚えていない（7.5%）

無回答（5.3%）

問９　あなたはどなたかと一緒に避難しましたか。（あてはまるもの全てに○）

N=451

1. 自分ひとりで（22.2%）
2. 家族と一緒に（52.3%）
3. 同僚や同じ職場の人（9.8%）
4. 近所の人（16.0%）
5. 学校で一緒にいた人（1.3%）
6. 避難を誘導した人（2.7%）
7. その他（　　）（4.7%）

無回答（2.7%）

問 10　あなたは避難する時にどのようなものを持ちましたか。（あてはまるもの全てに○）

N=451

1. 現金（37.0%）
2. 預金通帳・財布等の貴重品（36.1%）
3. 保険証（26.2%）
4. 食料・飲料水（7.3%）
5. 薬（9.1%）
6. 洋服（5.5%）
7. 携帯電話（36.1%）
8. 懐中電灯・電池（8.0%）
9. ヘルメット・防災ずきん（1.6%）
10. アルバムなど思い出の品（ー）
11. 位牌（3.8%）
12. 仕事の書類（1.1%）
13. ノートパソコン（0.2%）
14. その他（　　）（14.9%）
15. なにも持っていかなかった（30.2%）

無回答（2.9%）

問 11　あなたはどのように避難をしましたか。（○は１つだけ）

（※ただし、途中で移動手段を変えた場合は、1 次手段を○、2 次手段を◎）

N=451

1. 自分で歩いて避難した（33.9%）
2. 自分で自転車に乗って避難した（3.8%）
3. 自転車に乗せてもらい避難した（1.1%）
4. 自分でバイクを運転して避難した（0.9%）
5. バイクに乗せてもらって避難した（—）
6. 自分で車を運転して避難した（31.5%）
7. 車に乗せてもらい避難した（19.7%）
8. その他（　　）（5.5%）

無回答（3.5%）

問 12　あなたが<u>最初に避難した場所</u>は、普段から避難先と考えていたところですか。（○は１つだけ）

N=451

1. はい（53.7%）
2. いいえ（42.8%）

無回答（3.5%）

問 13　<u>最初に避難した場所</u>から<u>別の場所</u>に避難しましたか。（○は１つだけ）

N=451

1. 別の場所に避難した（60.8%）　→ 問 14～15 へ
2. 最初に避難した場所にとどまった（36.4%）　→ 問 16 へ

無回答（2.9%）

【別の場所に避難した方におたずねします】

問 14　あなたが<u>別の場所</u>に避難した最も強い理由は何ですか。（○は１つだけ）

N=274

1. みんなが別の場所に移動しはじめたから（20.4%）
2. 警察・消防などが別の場所への避難を指示したから（18.6%）
3. 避難を誘導した人が別の場所への避難を指示したから（19.3%）
4. 実際に大きな津波をみて、危険だと判断したから（11.3%）
5. その他（　　）（25.9%）
6. よく覚えていない（1.8%）

無回答（2.6%）

【別の場所に避難した方におたずねします】

問 15　あなたが<u>最初に避難した場所</u>は、結果的に津波の被害にあいましたか。（○は１つだけ）

N=274

1. 最初の避難場所は津波の被害にあっていた（55.5%）
2. 最初の避難場所でも被害にはあわなかった（42.0%）

無回答（2.6%）

問 16　あなたは今回の地震で直接、津波を見ましたか。（○は１つだけ）

N=451

1. 津波に巻き込まれた（9.8%）
2. 津波に巻き込まれる寸前だった（22.2%）
3. 少し離れたところから、津波が来るのを見ていた（36.8%）
4. 津波が来るのを見ていない（28.8%）

無回答（2.4%）

問 17(1)　この度の地震や津波で、あなたのご自宅やご家族はどのような被害を受けましたか。

①自宅（○は１つだけ）

N=451

1. 津波によって自宅が流出または全壊・全焼した（72.9%）
2. 津波によって自宅が半壊・一部損壊した（19.5%）
3. 地震の揺れによって全･半壊した（2.0%）
4. その他（　　）（4.0%）
5. わからない（0.7%）

無回答（0.9%）

②ご自身（○は１つだけ）

N=451

1. 無事だった（94.2%）　　2. 怪我をした（4.7%）

無回答（1.1%）

③ご家族（あてはまるもの全てに○）

N=451

1. 全員無事だった（83.8%）
2. 怪我をした家族がいる（5.5%）
3. 亡くなったり不明の家族がいる（10.2%）

無回答（0.7%）

問 17(2)　ご家族全員の安否がわかったのは、地震当日からどの位経ってからですか。（○は１つだけ）

N=451

1. 地震発生の当日中（41.2%）
2. 翌日（19.7%）
3. 3 日目（14.9%）
4. 4 日目（5.8%）
5. 5 日以上経ってから（14.4%）
6. いまだに安否が不明の家族がいる（2.7%）

無回答（1.3%）

問 18　あなたが津波から避難できた理由はどのようなことですか。（あてはまるもの全てに○）

N=451

1. 昔から安全だといわれていたところへ避難したから（13.3%）
2. 家族から昔の津波や地震の話を聞いていたから（10.0%）
3. 防災訓練等で知っていたから（8.9%）
4. 学校等で教わっていたから（2.7%）
5. 自分や家族のとっさの判断がよかったから（32.8%）
6. 近所や隣人の避難の呼びかけがあったから（20.0%）
7. 消防や警察の避難の呼びかけがあったから（9.3%）
8. 自主防災組織等の避難の呼びかけがあったから（3.8%）
9. 歩いて避難したから（8.2%）
10. 車で避難したから（21.7%）
11. 車で避難しなかったから（2.7%）
12. 途中で車に乗せてもらえたから（1.6%）
13. 自転車・バイクで避難したから（1.6%）
14. 自転車・バイクで避難しなかったから（0.2%）
15. 避難を誘導してくれる人がいたから（8.0%）
16. 早く避難したから（29.7%）
17. いったん自宅に戻ったりしなかったから（13.1%）
18. その他（　　）（17.5%）
19. わからない（2.0%）

無回答（2.2%）

問 19　あなたは、今回の津波被害でどのような行動が重要だと思いましたか。（あてはまるもの全てに○）

N=451

1. 地震が発生したらすぐに避難する（65.9%）
2. 地震や津波について学習する（24.2%）
3. 地震や津波に関しての昔からの言い伝えや慣習を理解する（15.3%）
4. 地震や津波に対する避難訓練を行う（22.2%）
5. 津波に対して、避難する場所や方向をよく知っておく（35.3%）
6. 一旦自宅に戻ったりしない（28.8%）
7. 車での避難の危険性・有効性を判断する（20.2%）
8. 避難に関する指示を理解する（12.6%）
9. 離れている家族などが心配でも、各自が急いで高所に避難する（25.3%）
10. その他（　　）（10.0%）
11. わからない（2.2%）

無回答（1.6%）

問 20　あなたは、家族などから過去の地震や津波のことを聞いたことがありますか。（○は１つだけ）

N=451

1. 聞いたことがあり、役に立った（24.6%）
2. 聞いたことがあり、多少役に立った（9.5%）
3. 聞いたことはあるが、あまり役に立たなかった（15.3%）
4. 聞いたことはあるが、役に立たなかった（24.4%）
5. 聞いたことがなかった（24.4%）

無回答（1.8%）

問 21　あなたは、学校や生涯学習などで、この地域の地震や津波について習ったことがありますか。（○は１つだけ）

N=451

1. 習ったことがあり、役に立った（13.3%）
2. 習ったことがあり、多少役に立った（9.3%）
3. 習ったことはあるが、あまり役に立たなかった（7.3%）
4. 習ったことはあるが、役に立たなかった（16.4%）
5. 習ったことがなかった（50.8%）

無回答（2.9%）

問 22　お宅では、今回の大震災が発生する前にどのような備えをしていましたか。（あてはまるもの全てに○）

N=451

1. 家具の固定（27.1%）
2. 家屋の耐震診断や補強（5.5%）
3. 家屋の新築（2.4%）
4. 非常持ち出し品の準備（26.4%）
5. 食料・飲料の備蓄（14.9%）
6. ガス・プロパンガスの元栓を閉めていた（12.2%）
7. 転倒するような家具の近くに寝ない（9.1%）
8. 津波防災ハザードマップを見て地域の危険性を確認していた（4.2%）
9. 避難場所の確認をしていた（28.4%）
10. 避難の方法や連絡手段、集合場所などを家族で話し合っていた（11.3%）
11. 地域の津波避難訓練に参加した（12.2%）
12. その他（　　）（2.2%）　　13. 特にない（31.9%）

無回答（1.1%）

問 23　あなたは、地震発生から数日間、どのようなことが知りたかったですか。

（あてはまるもの全てに○）

N=451

1. 今回の地震についての震源地、規模などの情報（31.9%）
2. 今後の余震の可能性や、規模の見通しについて（34.6%）
3. 地震や津波の被害状況について（48.3%）
4. 家族や知人の安否について（67.4%）
5. 行方不明者の救出や捜索活動について（23.5%）
6. 役所・警察・消防などの対策や活動について（15.7%）
7. 水道･ガス・電気・電話の復旧の見通しについて（33.3%）
8. 水・食料や生活物資について（37.3%）
9. 病院について（18.8%）
10. 原子力発電所の状況について（19.1%）
11. 同様に被災した他の地域の様子について（15.1%）
12. 救援活動の状況について（19.1%）
13. その他（　　）（9.3%）
14. 特にない（3.8%）

無回答（1.3%）

問 24　地震発生から数日間、情報入手の手段が限られる中で、災害に関する情報は主にどこから入手しましたか。（あてはまるもの全てに○、最も役に立った情報媒体に◎）

N=451

1. テレビ（13.3%）
2. ラジオ（通常のＡＭやＦＭ）（61.9%）
3. さいがいｴﾌｴﾑ（ｺﾐｭﾆﾃｨＦＭ）（3.1%）
4. 新聞（31.0%）
5. パソコン（0.4%）
6. 携帯電話（13.7%）
7. ツイッターやＳＮＳなど（1.8%）
8. 口コミ（29.0%）
9. 役所、警察、消防署などからの情報（13.5%）
10. その他（　　）（2.9%）
11. 特にない（6.4%）

無回答（0.7%）

問 25　現時点で必要と感じる情報は、どのようなものですか。（あてはまるもの全てに○）

N=451

1. 各被災地の被害の状況（14.4%）
2. 各被災地の復旧・復興の状況（31.3%）
3. 避難所や避難生活の状況（21.1%）
4. 生活に必要な身の回りの情報（31.5%）
5. 不明者の捜索や発見に関する情報（13.7%）
6. 原発関連の情報（13.5%）
7. 仮設住宅の入居時期（67.8%）
8. 広域避難計画の内容（7.8%）
9. 学校の再開や転校などのこと（12.4%）
10. 失業対策や就職のこと（23.5%）
11. その他の被災者救援対策について（16.9%）
12. 復興に関する国の方針やﾒｯｾｰｼﾞ（22.0%）
13. 復興支援の具体的な時期や内容（36.8%）
14. その他（7.8%）
（　　）
15. 特にない（4.0%）

無回答（0.9%）

問 26　生活上の不安や問題を解消するような情報がどの程度提供されていると思いますか。

（○は１つだけ）

N=451

1．充分提供されている（10.4%）　　3．あまり提供されていない（41.7%）
2．まあ提供されている（29.3%）　　4．まったく提供されていない（17.1%）

無回答（1.6%）

問 27　今回の震災に関する報道で、問題があると感じていることはありますか。

（あてはまるもの全てに○）

N=451

1．報道に取り上げられる場所とそうでない場所がある（46.8%）
2．今自分たちに必要なことが報道されていない（29.9%）
3．被害状況の報道が多く、避難者の生活に役立つ情報が少ない（24.4%）
4．報道されても必要な物資等が回ってこない（10.9%）
5．その他（　　）（9.8%）
6．特にない（19.3%）

無回答（4.0%）

問 28　最近、テレビをよく見ていますか。（○は１つだけ）

N=451

1．見ている（15.1%）　　3．ほとんど見ていない（見ることができない）（34.1%）
2．たまに見ている（18.4%）　　4．全く見ていない（見ることができない）（31.7%）

無回答（0.7%）

【問 28 で 1・2 と回答した方におたずねします】

問 29　今回の震災では、ＮＨＫ・民放各社が、通常放送中にＬ字型などの字幕画面を使って震災や原発の情報、ライフラインの復旧状況、受診できる病院や買い物などの生活に関する情報などを流し続けています。被災後の生活の中で、これらはどの程度活用されていますか。

（○は１つだけ）

N=151

1．よく利用し大変役立っている（21.2%）
2．必要な情報によっては役立つこともある（39.7%）
3．たまたま見かければ活用することもある（11.3%）
4．あまり見ないし役立っていない（20.5%）
5．字幕画面による情報提供を知らない（4.0%）

無回答（3.3%）

問 30　震災の直後から、赤十字や民間ボランティアの人たちが様々な救援活動を行っています。あなた自身にとって、今どのような支援が必要ですか。（あてはまるもの全てに○）

N=451

1．物資の運搬や食事などの支援（28.8%）
2．怪我や病気の手当･診察（18.0%）
3．自宅や周辺のがれきなどの片づけ（33.9%）
4．炊事・洗濯･清掃など身の回りの手伝い（16.9%）
5．荷物の搬送（10.9%）
6．引越しの手伝い（8.2%）
7．話し相手（4.7%）
8．その他（　　）（9.3%）
9．特にない（27.9%）

無回答（3.3%）

問 31　あなたが安心できる生活を取り戻すために、行政に望む主な支援策はどのようなことですか。

（あてはまるもの全てに○）

N=451

1. ライフライン（電気・水道･ガス・電話･交通機関など）の復旧（48.8%）
2. スムーズな仮設住宅の設置と入居（76.3%）
3. 相談窓口などの整備と情報提供（28.4%）
4. 家屋や車など生活で失った資産の再建への補助や貸付（63.4%）
5. 地域における雇用の創出（24.6%）
6. 事業再開に必要な資金の補助や貸付（17.7%）
7. 医療・福祉サービスの提供の正常化（29.0%）
8. 災害ボランティア等の適切･効率的な活動の調整役（15.1%）
9. その他（　　）（10.0%）
10. 特にない（0.7%）

無回答（0.7%）

問 32　あなたは、今後も被災前の地域での生活再建することを望んでいますか。（○は１つだけ）

N=451

1. 元の場所で津波対策をして再建したい（20.4%）
2. 高所に移転したい（18.0%）
3. 近くに高層住宅を建ててもらいそこに入居したい（4.2%）
4. 高い防波堤・防潮堤を建設してもらい、元の場所に元と同じような住宅を再建したい（12.6%）
5. 別の安全な地域に移り住みたい（29.7%）
6. その他（　　）（6.4%）
7. わからない（7.8%）

無回答（0.9%）

[属性項目]

F1　性別

N=451

1．男（45.5%）　　2．女（54.5%）

F2　年齢

N=451

1．20 歳代（6.7%）	2．30 歳代（10.0%）	3．40 歳代（18.6%）
4．50 歳代（17.5%）	5．60 歳代（26.2%）	6．70 歳以上（21.1%）

F3　職業

N=451

1．漁業従事者（3.5%）	2．農業従事者（5.3%）	3．自営業（8.4%）
4．旅館・民宿（―）	5．勤め人（ﾊﾟｰﾄﾀｲﾑ含む）（35.9%）	6．主婦（17.5%）
7．学生（2.7%）	8．無職（24.6%）	9．その他（2.0%）

F4　同居家族の人数（ご自身を含め）

N=451

平均　3.51　人

自由記述

設問の中で、折々、エピソードやキーワードが発せられる場合は、調査員が自由記述としてメモを行う。

①避難時の状況

②伝承や学習の内容

③要望や意見など